

ぼくらは物語ハンター

バーバラ・リード：作 / 千葉 茂樹：訳 / あすなろ書房

絵本の舞台は旧石器時代のヨーロッパ。大昔の人たちはどのように思いを伝えていたのか、洞窟の壁に描かれた物語をたどっていくことで、先人たちに思いをはせていきます。粘土を使った立体的な絵を楽しみながら想像力が刺激される一冊です。



市民図書館所蔵

おすすめの本

毎日がちょっと楽しくなる コーヒーのはじめ方

坂本 翔：著 / Gakken

この本ではコーヒーを家で入れるコツ、産地や焙煎による味と香りの違いなどが紹介されており、これからコーヒーを楽しみたい人にも、より詳しく知りたい人にも、読みやすい一冊です。この機会に自分好みのコーヒーを見つけてみませんか？



「秋の読書週間」イベント

無料

●図書館からの挑戦状(クイズ)

時 10月23日(金)～11月5日(木)

●一般書のリサイクルフェア(無償配布)

時 10月24日(土)・25日(日)

※10月9日(金)午前9時30分から日時指定整理券配布

●おはなしの世界へようこそ

時 11月1日(日) 午後2時～3時

●図書館活用講座

時 11月3日(火) 午後2時～4時

●THE 座談

(ミステリーに関する本を語る場)

時 11月7日(土)

午前10時30分～11時30分



詳しくは、
市民図書館📖をご覧になるか、
市民図書館☎576-8241へ。



シリーズ じんけん 人の生き方を考える 574

それって本当？



「大変な状況だね」と、先週、ある地方で起こった災害のニュースを見ながらつぶやくと、中学生の娘が「たくさん家に被害があったみたいだね…」と心配そうに話すのでした。災害状況を伝えるニュースに続いて、災害ボランティアの人たちの映像が流れ始めました。それを見ていた小学生の息子が「カッコいいね。ぼくもやってみたい!」と言うので、わたしは「そんなに甘いものじゃないのよ」と諭すように言うと、娘は「でも、自分にできることを考えて“行動する”ってことが大事じゃないかな。必要な物資を送ったり、募金したりもできるし」と言うのでした。

息子は「自分にできることかあ…。まず災害について調べてみる」と言って自分の部屋に行き、しばらくすると「いろいろ分かったよ」と言いながらリビングに戻ってきました。「大きな地震が起こる前には、変な形の雲が現れたり、魚が大量に海岸に打ち上げられたりするんだって。明日クラスの友だちに教えてあげなきゃ」と興奮気味に言うので、わたしは「それって本当なの？」と答えると、息子は「ネットに出てたことが“うそ”ってこと？」と不思議そうな顔をするのでした。

すると、娘が息子に「うそかもしれない情報を広める

ことが“自分にできること”なの？」と語り掛け、続けて「この間、学校の授業で学んだんだけど、ある町で大きな地震が起こったときに“地震で動物園のおりが壊れて、たくさんの動物が町をウロウロしているので気を付けて”って写真を投稿した人がいたんだって。でもその写真はAIで作られたものだったの。けどど多くの人が信じて大変なことに…」と話し出しました。わたしも「その話よく覚えてる。動物園には苦情の電話が鳴りやまなかったみたいだし、本当に許せない」と話すと、息子は思わず「えっ、うその投稿をしたの？それって何のために？」と。

娘は「投稿した多くの人は“こんなことになるとは思ってなかった”って言うんだって。でも、そのことで苦しんだり傷ついたりする人がいるんだから、そんな言い訳は許されないと思う。投稿をする前に、その情報が本当なのか、その情報に責任が持てるのかを考える必要があるんじゃないかな」と語るのでした。息子はその話を真剣な表情で聞いていました。

生活を豊かにしてくれるインターネットですが、一度公開された投稿や書き込みは、拡散してしまうと消去が難しく「こんなことになるとは…」は通用しません。画面の向こう側の人を想像してみませんか？

今月は津久見市!

県南東部、豊後水道に面した自然豊かなまちです。リアス海岸やみかん畑、石灰鉱山など津久見ならではの景観が広がり、セメント産業のまちとしても知られています。

特産品

津久見みかん

みかん栽培が盛んで、「温州みかん」をはじめ、「サンつくみ」や「ポンカン」など多彩な品種が楽しめます。



モイカ

鉱山(石灰石)から流れるミネラル豊富な山水が豊かな藻場を育成し、モイカ(アオリイカ)の多い場所です。



独特の甘みとモチモチした食感は、高級食材として取り扱われ、一度食べたら忘れられない味といわれています。

津久見市からのプレゼント

今回紹介した津久見市からグッズを2人にプレゼント！応募は公式LINEから友だち追加をすると表示されるプレゼントメニューよりご応募ください。

応募締切：10月15日(休)

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

友だち追加▶



津久見扇子踊りで使われる扇子(レプリカ)

次号では、竹田市の魅力の特集します！

☎ 企画課 ☎585-5242

現在、市美術館で開催されている展覧会の名前は？

「6人の竹芸作家と コシノジュンコの出会い【〇〇】」

※ヒントは、この市報の中にあります。

正解者の中から抽選で、市ブランド認証加工品「Oita Birth」から**ごはんのお供セット**を3人にプレゼント！

※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

＜応募方法＞

スマホ 右の二次元コードから応募してください。

はがき はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、10月15日(木)〈消印有効〉までに広聴広報課(〒870-8504 荷揚町2-31 ☎537-5713)へ。



9月号 「市報クイズ」の答え

日持ちする食料や日用品を多めに買い置きし、消費した分は買い足すことで常に一定量を保つ備蓄方法は？

ストック法

編集担当より

今号の表紙は、美術館で行われる展覧会で作品制作を指導したコシノジュンコさんと竹芸作家の皆さんを撮影しました📷

展覧会に向けた面談では、各作家の個性豊かな作品イメージに驚き🤩!!

竹がこんなにもさまざまな姿を見せるのかと感心しきりでした。

世界的デザイナーが指導した作品を鑑賞できるまたとない機会です。市美術館におでかけしてみ

てはいかがでしょ

